

ふるさと よもやま

「私の加茂」
その9



新



いいともバトン：No.29 登場の阿部 明さん ➔ 長谷川貴志さん

左／堀内 大祐さん(45歳)



右／長谷川貴志さん(43歳)

いいとも No.30

「カクチヨー不動産」代表 長谷川貴志さんの“とものわ”は「株堀内組」社長 堀内大祐さん。お二人は親同士の繋がりで、幼い頃からお互い顔は知っていましたが、距離が縮まったきっかけは商工会議所青年部の活動が大きかったそうです。堀内さんが青年部会長を務めた年に、長谷川さんは新潟県商工会議所青年部連合会の会長を務め、一緒に全国各地の青年部をまわり『加茂』や『青年部』を盛り上げてきました。

3年前には空き家問題を解決するNPO法人を一緒に立ち上げました。空き家は全国的にも問題になっていますが、加茂市内にも約1千件あるそうで、手放したい人と安く買いたい人とのマッチングなどを通じて『地元・加茂をより良いまちに！』と取り組んでいるそうです。

私は生まれも育ちもほぼ加茂市。
「ほぼ」というのは、6歳まで県内各地を父の仕事の都合で転々としていました。加茂に越してきたのが保育園の年長児で、当然右も左も分からず、友達もいませんでした。が、当時は同じ町内だけでも同級生がたくさんいました。約束などせずとも、近所の友達が自然と集まり、おにごっこや

私は生まれも育ちもほぼ加茂市。

缶蹴りが始まり、誰

かの家に上がり込んだら

ゲームをやったり…さぞ

当時の親たちは元気な子

どもたちに手を焼いた事

でしょう。

小学生時代は、父も母も仕事で忙しかった為、学校終わりには仲町の祖父母の家に行き、よくお駄賃をねだっては、くしやさん、越路屋さん、凧長さん、木村や商店さんへ行つてはゲームをしたり、駄菓子を買い食いし

た日々を思い出します。祖父母にとつても金のかかる孫だったかもしれません。
そんな私も高校卒業後は上京して、大学・社会人の8年間を東京で過ごし、27歳で加茂に戻り、家業を継ぎました。それから間もなく丸10年が経とうとしています。その間に、私は結婚をして今年の春には第一子を授かりました。なんの縁か昨年の夏から仲町の祖父母

の家の隣に新居を構え、今は妻と娘の家族3人、日々慌ただしく過ごしています。
先日、娘を抱いて夕暮れの鯉のぼりの泳ぐ加茂川を散歩していると、ふと両親や祖父母も私と同じように私を抱いてこの景色を見ていたのかな、と思いました。我が子の為に、これからどんな未来や、加茂の景色を残していくのか、そんな思いを馳せながら。



フォトスタジオ
クリエイト

[住 所] 加茂市下条甲499-3
[T E L] (0256) 53-3131
[F A X] (0256) 53-3131
[當 業] 9:00~19:00
※日曜日、祝日は18:00まで
[定休日] 毎週水曜日

フォトスタジオ クリエイト
渡部 良平